

海外ボランティアレポート

※この様式以外のもので作成いただいてもかまいません。

氏名	兼上 泰行	作成 年月日	2024年9月2日
派遣国	エクアドル	職種	障害児・者支援
1 テーマ（派遣国情報紹介、協力活動紹介 等 テーマを記載ください。） 派遣先の様子、活動について			
2 内容 エクアドルに海外協力隊として派遣され半年以上が経ち、少しずつですが、生活にもボランティア活動をしている職場にも慣れてきました。赴任以来、緊急事態宣言が解除されないままで、治安もあまりよくはなく、外出時は少し緊張します。しかし、これまで何とか無事に過ごせているのは、いつも支えてくれるホームステイ先の家族をはじめ、日本大使館、JICA エクアドル事務所、隊員仲間、職場の同僚、そして、こまめに連絡をくれる日本の家族や友人のおかげであると心から感謝する毎日です。 職場は、様々な障害を抱える利用者を支援するデイケアセンターです。センターでは利用者の方々の社会自立に向けた生活支援を主に行っています。年齢は5歳児さんから成人（25歳くらい）までの利用者が、日本の学校のような形態（学級）で実用的な学力の向上を目指した課題学習を行ったり、様々なセラピー（乗馬、アクア、理学療法、ダンス、ヨガ）を行ったりしています。私は担任の先生と協力しながら、学習指導の補助や、身体移動の介助、食事介助、掃除、食器の準備や後かたづけなどを行っています。いつも、どこかで子供達とつながっている感覚があって幸せな時間を味わっています。（子供達からは、いつも「やっさん」と呼ばれています）。言葉のない子もおり、最近、エクアドル手話を習い始めました。少しでも子供達とコミュニケーションを図り、生活の質向上につなげることができれば幸せだなと思っています。エクアドルに来て以降、福井県立ろう学校とのオンライン交流学習も続けています。（海外協力隊に参加する前に、自身が勤務しておりました。）次回は、日本時間の9月30日（月曜日）に、ろう学校中学部とのオンライン交流学習を予定しております。交流学習に参加する隊員仲間もとても楽しみな時間になっています。			

兼上さんから送られてきた写真です。中央奥が兼上さんです。

